

科目名		現代社会 (Present-Day Society)							
学年	学科(コース)	単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第1学年	制御情報学科 経営情報学科	履修	2単位	—	講義	通年 90分/週	60時間		
担当教員		【常勤】 山下 祐志							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	(1) 社会科の基礎的な知識として、例えば日本の県名や都市名、半島名が正しく書ける。 (2) 環境問題や時事問題、国際政治・経済の動向に関心を持つことができ、これらに関する新聞記事や報道の論調を概ね理解できる。 (3) 青年期の発達課題を自覚できる。								
学習・教育目標	(F)	JABEE基準1(2)		—					
関連科目、教科書および補助教材									
関連科目									
教科書	「現代社会」間宮陽介ほか編(東京書籍)								
補助教材等	「標準高等地図」帝国書院編集部編(帝国書院)								
達成度評価 (%)									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
	40	40	10	10					100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】	◎	◎	◎						
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】	○	○		○					
汎用的技能 【 】									
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と創造的思考力 【 】									
学習上の留意点および学習上の助言									
<p>・基礎的な学力を身に付けるため、小テストを繰り返すので復習が大切である。</p> <p>・本講義は、高専5年間で学習する社会科諸科目の導入的な役割も担っている。したがって、教科書の内容に制約されずに、広く自由な観点から現代社会の諸相を多面的にとらえ、社会科学一般の基本的な考え方やセンスを身に付けてもらえるように工夫したいと思う。</p>									

授業の明細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	導入	シラバスの意図するところが概ね理解できる。	
2	地球環境問題	今日どのような地球環境問題が生じているのか、その具体的な事例について知識を得る。	小テストに備える。
3	地球環境問題	環境保護のための国際条約の数々について、その歴史的推移を含めて理解できる。	小テストに備える。
4	資源・エネルギー問題	今日の資源・エネルギー問題と、再生可能エネルギーへの注目が高まっていることを理解できる。	小テストに備える。
5	医療技術の発達と生命倫理	バイオテクノロジーの進歩と生命操作について、その可能性と課題について理解できる。	小テストに備える。
6	情報化の進展と生活	ユビキタス社会の諸相と危険性について理解できる。	小テストに備える。
7	調整とまとめ	これまでの学習内容を総括できる。	中間試験に備える。
8	中間試験		
9	青年期と自己の形成	青年期の特徴について、概略を理解できる。	
10	青年期と自己の形成	青年期の発達課題(アイデンティティの確立)について理解できる。	小テストに備える。
11	青年期と自己の形成	青年期の発達課題(キャリア開発)について理解できる。	小テストに備える。
12	青年期と自己の形成	防衛機制と社会的適応、パーソナリティの形成の関係について理解できる。	小テストに備える。
13	青年期と自己の形成	青年期を自分自身の問題として考えることができる。	レポートを作成する。
14	地図帳学習	半島名や海流名など、地図上の基礎的な知識を身に付ける。	前期末試験に備える。
	前期末試験		
15	答案返却・解答解説、後期からの授業概要の説明	試験解説により、間違った箇所を理解できる。	

授業の明細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	経済のしくみ	アダム・スミスとケインズ, およびマルクスとフリードマンの経済理論について, その基本的な考え方を理解できる。	
17	経済のしくみ	市場経済のしくみと基礎的な経済用語について, 説明できる。	小テストに備える。
18	経済のしくみ	中央銀行の役割と金融の自由化・国際化について, その概要を理解できる。	小テストに備える。
19	経済のしくみ	政府の役割と財政問題について, その概要を説明できる。	小テストに備える。
20	変化する日本経済	戦後復興と高度経済成長について, 時間軸で説明できる。	小テストに備える。
21	変化する日本経済	経済のバブル化とその後の経済動向について, その概要を説明できる。	小テストに備える。
22	現代の企業	企業の多様化と国際化, および社会的責任について, その概要が理解できる。	中間試験に備える。
23	中間試験		
24	豊かな生活の実現	労働者の権利について, 関連する法律と照らし合わせて説明できる。	
25	豊かな生活の実現	現代の雇用・労働問題を概観できる。	小テストに備える。
26	豊かな生活の実現	日本の社会保障制度について, その概要を理解できる。	小テストに備える。
27	国際政治のしくみと動向	国家の三要素と領土問題について, 関心をもつことができる。	小テストに備える。
28	国際政治のしくみと動向	国際連合の現状と課題について, その概略を理解できる。	レポートを作成する。
29	国際政治のしくみと動向	核兵器と軍縮への取り組みについて, 基本的な考え方を述べることができる。	学年末試験に備える。
	学年末試験		
30	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	試験問題の解説を通じて, 間違った箇所を理解できるようになる。	
総授業時間数			60 時間